

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
【発行日】令和 5 年 6 月 8 日(2023.6.8)

【公開番号】特開 2023-38329(P2023-38329A)  
【公開日】令和 5 年 3 月 16 日(2023.3.16)  
【年通号数】公開公報(特許)2023-050  
【出願番号】特願 2023-9211(P2023-9211)  
【国際特許分類】

A 6 1 H 15/00(2006.01)

10

【F I】

A 6 1 H 15/00 3 1 0 C

A 6 1 H 15/00 3 1 0 D

A 6 1 H 15/00 3 2 0 B

【手続補正書】  
【提出日】令和 5 年 5 月 31 日(2023.5.31)  
【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲  
【補正対象項目名】全文  
【補正方法】変更  
【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

基部と、

前記基部に対して対称に設けられる第 1、第 2 アームと、

前記第 1 アームの一端部に設けられる第 1 施術体と、

前記第 2 アームの一端部に設けられる第 2 施術体と、

を備え、

前記第 1 アームは、第 1 変形部を含み、

30

前記第 2 アームは、第 2 変形部を含み、

前記第 1 変形部および前記第 2 変形部は、前記第 1 施術体と前記第 2 施術体との距離が  
変化するよう弾性変形可能に構成され、

前記第 1 変形部および前記第 2 変形部は、ウレタン樹脂により形成される、美容器。

【請求項 2】

前記第 1 変形部および前記第 2 変形部のそれぞれについて、長手方向に直交する断面の面  
方向に沿った方向であって、前記第 1 施術体の中心と前記第 2 施術体の中心を通る方向で  
ある第 1 方向に直交する方向を第 2 方向と称し、前記断面の面方向に沿った方向であって  
前記第 2 方向に直交する方向を第 3 方向と称するとき、前記断面は前記第 2 方向の寸法が  
前記第 3 方向の寸法よりも大きい、請求項 1 に記載の美容器。

40